



ひろしま神楽

関西公演 in 西宮

出演団体

日吉神楽団 (安芸高田市)

大塚神楽団 (北広島町)

津浪神楽団 (安芸太田町)

2026年 7月4日(土)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
兵庫県西宮市高松町2-22

第1部 開場11:30 開演12:30 終演15:10

第2部 開場16:00 開演17:00 終演19:40

※第1部、第2部はそれぞれチケットのご購入が必要です。

前売チケット(全席指定)

一般	1階席	5,000円(当日 5,500円)
	2階席	4,000円(当日 4,500円)
子ども・学割	1階席	3,000円(当日 3,000円)
	2階席	2,000円(当日 2,000円)

4月28日(火)10:00~チケット販売開始!!

芸術文化センターチケットオフィス tel.0798-68-0255

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

直接購入は芸術文化センター2階総合カウンター

10:00AM~5:00PM 月曜休み
※祝日の場合翌日

チケットぴあ [Pコード:540-714] チケットぴあ ひろしま神楽 検索

セブンイレブンマルチコピー機またはインターネットより購入可能です。



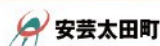
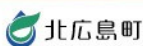
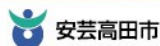
チケットぴあ
サイト

※表示金額税込※車椅子席券は神楽門前湯治村で販売しています。 ※車椅子の方1名様につき、介助の方は2名様までお問い合わせいただけます。
※3歳未満は膝上鑑賞可能です。席が必要な場合は有料となります。 ※子ども:0歳~15歳まで。学割対象者:高校生、専門学生、大学生。

ふるさと物産展同時開催! ロビーにて神楽衣裳の試着体験もできます!

■主催・企画・制作/ひろしま安芸高田大都市圏プロモーション実行委員会 ■共催/北広島町、安芸太田町、三原市 ■後援/観光庁、国土交通省中国運輸局、広島県、西宮市、(一社)広島県観光連盟、西日本旅客鉄道株、中国新聞社、近畿広島県人会、京都広島県人会、広島県・関西同窓協議会、安芸高田市ふるさと応援の会関西地区、NPO法人広島神楽芸術研究所、(公財)兵庫県芸術文化協会、(一社)しのみや観光協会(予定) ■特別後援/(公財)サントリー文化財団 ■協力:安芸高田神楽協議会、北広島町神楽協議会、安芸太田町神楽協議会、ひろしま芸北神楽協議会連携会議 ■制作協力/(株)ゼロワン、(株)RCC文化センター、(一社)NEXTひろしま神楽プロジェクト

公演に関するお問い合わせ先/神楽門前湯治村 TEL(0826)54-0888



ひろしま神楽 関西公演 in 西宮 2026.7.4 [sat]

あなたは「ひろしま神楽」を観たことがありますか？その壮麗さはヨーロッパのオペレッタにも似てスピード感はブロードウェイミュージカルのような。
勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣裳、ストーリー構成など、あなたの想像を超える神楽ワールドへご案内します。

神楽を詳しく解説！！

提供：公益財団法人サントリー文化財団



【第1部 開場11時半 プログラム】

12:30~ 開演(開会行事)
12:50~ 紅葉狩 [日吉神楽団]
13:30~ 大楠公 [津浪神楽団]
14:10~ 休憩
14:30~ 八岐大蛇 [大塚神楽団]
15:10 終演予定

【第2部 開場16時 プログラム】

17:00~ 開演(開会行事)
17:20~ 滝夜叉姫 [大塚神楽団]
18:00~ 塵倫 [津浪神楽団]
18:40~ 休憩
19:00~ 八岐大蛇 [日吉神楽団]
19:40 終演予定

紅葉狩 (日吉神楽団)

平安時代の中ごろ、狩野の旅に出た信濃の守・中納言平維茂は、艶やかに色づいた紅葉に心を奪われ、山奥深く分け入り、道に迷ってしまいます。

紅葉狩の酒宴を開き、待ち受けていた戸隠山の鬼女たちは主従を宴に誘います。誘われるまま宴の客となり酔い伏した主従を前に、鬼女たちは正体を現し、取り食らおうとしますが、維茂が日頃より信心する八幡大菩薩が現れます。鬼女を追い払うと共に主従を目覚めさせ、「神剣」を授けます。そして、正気を取り戻した主従は、めでたく鬼女を成敗するという物語です。



大楠公 (津浪神楽団)

足利尊氏と楠木正成との「湊川(みなとがわ)の戦い」を神楽化したものです。

楠木正成は、弟の正季とともに後醍醐天皇への忠誠を守り、兵庫において足利の大軍と雌雄を決しようとしています。出陣の際、正成は一子の正行を呼び寄せ、河内へ帰らせようと思いますが、正行は聞き入れようとしません。そこで正成は、「父子の私情によって、君臣の大義を忘れてはならない」と説き、宝刀を授けて故郷へ立ち帰らせます。その後、正成は正季とともに湊川において足利の軍勢を迎え撃ち、「七生報国」を誓い合って討ち死にするという物語です。



滝夜叉姫 (大塚神楽団)

藤原秀郷・平貞盛の軍に敗れあえなき最期を遂げた平将門。その娘五月姫は、父の無念を晴らすべく貴船の社に祈願をかけ、その満願の日に貴船の神の妖術を授かり、名を滝夜叉姫と改めます。下総の国に立ち返り数多の手下を集め朝廷に背き、天下に災いをなすようになります。

そのため、大宅中将光圀が姫征伐の勅命を被り、陰陽の秘術をもってこれを鎮圧するという物語です。



塵倫 (津浪神楽団)

第十四代仲哀天皇の時代、日本の国征伐を企て、異国から数万の軍兵が攻め

入ってきました。その中に塵倫と言って身に翼をつけ、黒雲に乗り、虚空を自由に飛行する神通自在の大将軍がおり、国々村々を荒らし回っては多くの人民を亡ぼしました。そこで天皇は、従者に高麻呂を従え、塵倫を退治したという物語です。



八岐大蛇 (大塚神楽団/日吉神楽団)

高天原を追われた須佐之男命が、出雲の国箆の川上で嘆き悲しんでいる老夫婦と奇稲田姫に出会います。その理由を聞き、須佐之男命は大蛇退治を決意します。老夫婦に毒酒を造らせると、大蛇が現れその酒を飲み、酔い伏して眠ってしまいます。須佐之男命は酔い伏した大蛇を大格闘の末、退治します。この時、大蛇の尾から出てきた一振りの剣を、命は「天叢雲剣」と名付け、天照大神に捧げ、めでたく奇稲田姫を妻にするという物語です。



便利なアクセス！！

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分 (阪急電車特急乗車の場合)

○阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連結デッキで直結)
○JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22